

地球温暖化対策計画書

1 指定地球温暖化対策事業者の概要

(1) 指定地球温暖化対策事業者及び特定テナント等事業者の氏名

指定地球温暖化対策事業者 又は特定テナント等事業者の別	氏名（法人にあつては名称）
指定地球温暖化対策事業者	日本ホテル株式会社

(2) 指定地球温暖化対策事業所の概要

事業所の名称		ホテルメトロポリタン							
事業所の所在地		東京都豊島区西池袋一丁目6番1号							
業種等	事業の業種	分類番号	M75	M_宿泊業_飲食サービス業	宿泊業				
		産業分類名	宿泊業						
	事業所の種類	主たる用途	宿泊						
		用途別内訳	建物の延べ面積 (熱供給事業所にあつては熱供給先面積)	前年度末	59,876.44	m ²	基準年度	59,833.58	m ²
			事務所	前年度末		m ²	基準年度		m ²
			情報通信	前年度末		m ²	基準年度		m ²
			放送局	前年度末		m ²	基準年度		m ²
			商業	前年度末	3,585.82	m ²	基準年度		m ²
			宿泊	前年度末	36,493.20	m ²	基準年度	53,261.04	m ²
			教育	前年度末		m ²	基準年度		m ²
			医療	前年度末	802.38	m ²	基準年度	802.38	m ²
			文化	前年度末	1,134.20	m ²	基準年度		m ²
			物流	前年度末		m ²	基準年度		m ²
			駐車場	前年度末	5,770.16	m ²	基準年度	5,770.16	m ²
工場その他上記以外	前年度末	12,090.68	m ²	基準年度		m ²			
事業の概要		【ホテルメトロポリタンの概要】 ・1985年6月竣工 ・ホテルの各階用途は、地上6階から25階まで客室、3・4・5・26階が宴会場、地下2・1・3・26階が飲食、地下3階が駐車場・機械室・その他事務所である。							
敷地面積		7,648.50 m ²							

(3) 担当部署

計画の 担当部署	名 称	環境マネジメント室
	電 話 番 号 等	03-5954-1204
公表の 担当部署	名 称	環境マネジメント室
	電 話 番 号 等	03-5954-1204

(4) 地球温暖化対策計画書の公表方法

公表方法	ホームページで公表	アドレス： http://www.nihonhotel.com
	窓 口 で 閲 覧	閲覧場所： 日本ホテル株式会社 環境マネジメント室
		所在地： 東京都豊島区西池袋1-11-1 メトロポリタンプラザ13F
		閲覧可能時間 10：00～16：30
	冊 子	冊子名：
入手方法：		
そ の 他	アドレス：	

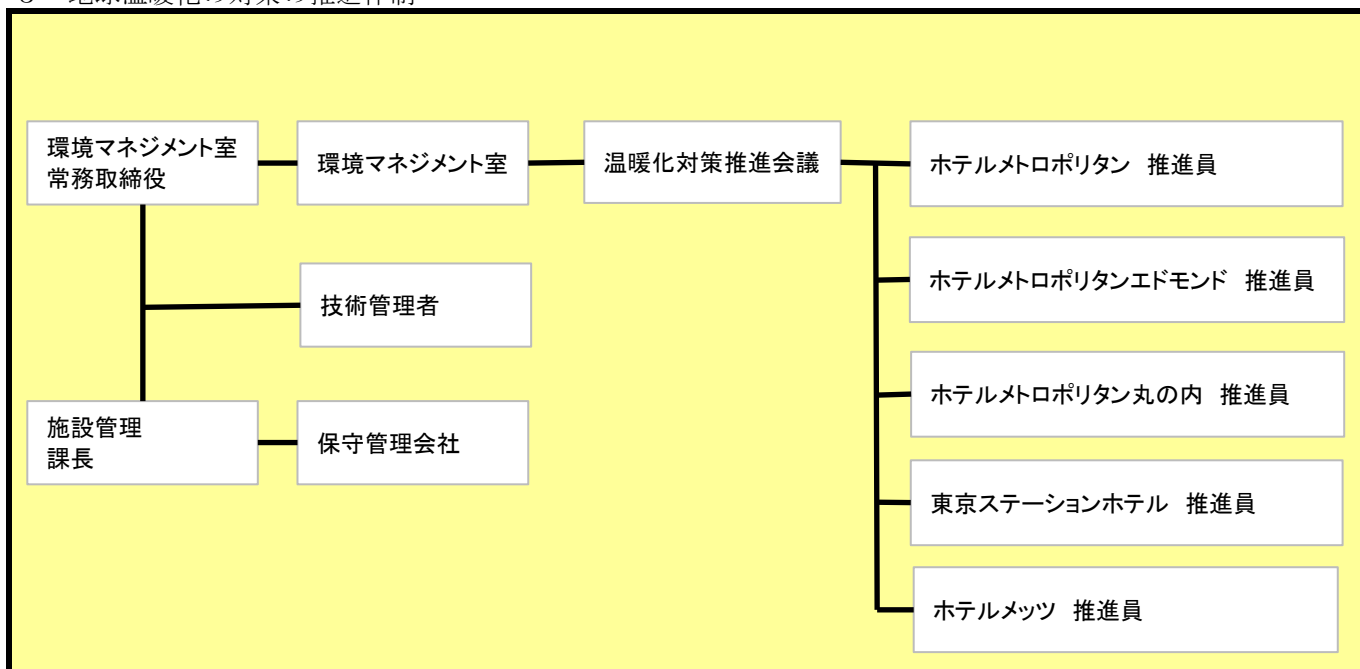
(5) 指定年度等

指定地球温暖化対策事業所	2009	年度	事業所の使用開始年月日	1985	年	6	月		日
特定地球温暖化対策事業所	2009	年度							

2 地球温暖化の対策の推進に関する基本方針

当社では、「温室効果ガス排出量総量削減義務」に基づき日頃より積極的に取り組んでいる。
 下記内容を重視して地球温暖化対策に取り組む。
 1. 事業所での省エネの取り組み（特に節電対策）
 2. 事業所での照明や空調のインバーター等の高効率化によるCO2削減
 3. 従業員・入居テナントに対する環境意識向上の為、CO2削減推進委員会を定期的に発足し、啓発活動を実施

3 地球温暖化の対策の推進体制



4 温室効果ガス排出量の削減目標（自動車に係るものを除く。）

(1) 現在の削減計画期間の削減目標

計画期間	2015 年度から 2019 年度まで			
削減目標	特定温室効果ガス	高効率空調機器への取替やインバーター化、客室個別空調の効率運転、空調風量や温度設定の最適化を図るとともにバックヤードの蛍光灯をLEDに変更し消費電力を削減する。また、入居テナントと一体となって運用対策を実施することにより、総量削減義務（15%見込み）以上の削減を目指す。		
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	その他ガスでは、客室シャワーヘッド、水栓、便器にて節水型機器を使用しており、節水対策は実施済みである。また、厨房排水の再生水をトイレ洗浄水に再利用している。今後は従業員や入居テナントに対し更なる節水を呼びかけ、使用量2%以上削減することを目標とする。		
削減義務の概要	基準排出量	10,184 t（二酸化炭素換算）/年	削減義務率の区分	I-2
	排出上限量（削減義務期間合計）	43,285 t（二酸化炭素換算）	平均削減義務率	14.99%

(2) 次の削減計画期間以降の削減目標

計画期間	2020 年度から 2024 年度まで	
削減目標	特定温室効果ガス	積極的な高効率設備への変更などにより、基準排出量の15%以上の削減を目標とする。
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	過去の計画期間同様に節水を行うことで、その他ガス2%以上をの削減を継続する。

5 温室効果ガス排出量（自動車に係るものを除く。）

(1) 温室効果ガス排出量の推移

単位：t（二酸化炭素換算）

		2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
特定温室効果ガス (エネルギー起源CO ₂)		9,184	9,238			
その他ガス	非エネルギー起源二酸化炭素 (CO ₂)					
	メタン (CH ₄)					
	一酸化二窒素 (N ₂ O)					
	ハイドロフルオロカーボン (HFC)					
	パーフルオロカーボン (PFC)					
	六ふっ化いおう (SF ₆)					
	三ふっ化窒素 (NF ₃)					
上水・下水		122	121			
合計		9,306	9,359			

(2) 建物の延べ面積当たりの特定温室効果ガス年度排出量の状況

単位：kg（二酸化炭素換算）/㎡・年

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
延べ面積当たり特定温室効果ガス年度排出量	153.4	154.3			

6 総量削減義務に係る状況（特定地球温暖化対策事業所に該当する場合のみ記載）

(1) 基準排出量の算定方法

<input checked="" type="radio"/> 過去の実績排出量の平均値	基準年度：（ 2005年度・2006年度・2007年度 ）
<input type="radio"/> 排出標準原単位を用いる方法	
<input type="radio"/> その他	算定方法：（ ）

(2) 基準排出量の変更

	前削減計画期間	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
変更年度						

(3) 削減義務率の区分

削減義務率の区分	I - 2
----------	-------

(4) 削減義務期間

2015年度から	2019年度まで
----------	----------

(5) 優良特定地球温暖化対策事業所の認定

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
特に優れた事業所への認定					
極めて優れた事業所への認定					

(6) 年度ごとの状況

単位：t（二酸化炭素換算）

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	削減義務期間合計
決定及び予定の量	基準排出量(A)	10,184	10,184	10,184	10,184	10,184	50,920
	削減義務率(B)	15.00%	15.00%	15.00%	15.00%	15.00%	
	排出上限量(C = ΣA-D)						43,285
	削減義務量(D = Σ(A × B))						7,635
実績	特定温室効果ガス排出量(E)	9,184	9,238				18,422
	排出削減量(F = A - E)	1,000	946				1,946

(7) 前年度と比較したときの特定温室効果ガスの排出量に係る増減要因の分析

増減要因	<input type="checkbox"/> 削減対策	<input type="checkbox"/> 床面積の増減	<input type="checkbox"/> 用途変更
	<input type="checkbox"/> 設備の増減	<input checked="" type="checkbox"/> その他	
具体的な増減要因	<p>・蒸気～客室の稼働率が高く、シャワー・バス等において湯量が増えた為、蒸気使用量が增大し排出量が増加。 ・冷水～客室の稼働率が高く、夏の猛暑にも影響され空調機及びPAFMAC等において冷水使用量が增大し排出量が増加。 ・電気～照明器具のLED化、空調機等の高効率化、インバーターの導入、節電の取り組み等により電気使用量が減り排出量が減少。</p> <p>上記の要因により温室効果ガスの排出量は、全体として増加してしまった。</p>		

7 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況（自動車に係るものを除く。）

対策 No	対策の区分		対策の名称	実施時期	備考
	区分 番号	区分名称			
		【特定温室効果ガス排出量の削減の計画及び実施の状況】			
1	150200	15_照明設備の運用管理	照明器具センサー制御	2010年度	
2	150200	15_照明設備の運用管理	LED化	2010年度	
3	130100	13_空気調和の管理	高効率空調機への更新「A-2・A-3・A-23」	2010年度	
4	150200	15_照明設備の運用管理	照明設備の見える化メーター取付	2011年度	
5	140300	14_冷凍冷蔵設備及びちゅう房設備の管理	照明設備の見える化メーター取付	2011年度	
6	130200	13_空気調和設備の効率管理	空調機流量計取付	2011年度	
7	150200	15_照明設備の運用管理	LED化	2011年度	
8	130100	13_空気調和の管理	高効率空調機への更新	2013年度	
9	130100	13_空気調和の管理	空調機のインバーター化（客室低層階冷温水ポンプ）	2013年度	
10	150200	15_照明設備の運用管理	LED化	2013年度	
11	130300	13_換気設備の運転管理	各種FANのインバーター化	2014年度	
12	130200	13_空気調和設備の効率管理	館内改装に伴い高効率空調機への更新	2014年度	
13	150200	15_照明設備の運用管理	館内改装に伴いLED化	2014年度	
14	160100	16_昇降機の運転管理	エレベータ4基更新・高効率運転への切り替え	2014年度	
15	160100	16_昇降機の運転管理	エレベータ5基更新・高効率運転への切り替え	2015年度	

7 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況（自動車に係るものを除く。）

対策 No	対策の区分		対策の名称	実施時期	備考
	区分 番号	区分名称			
16	150200	15_照明設備の運用管理	宴会場改装に伴うLED化	2015年度	
17	160100	16_昇降機の運転管理	エレベータ2基更新・高効率運転への切り替え	2016年度	
18	150200	15_照明設備の運用管理	客室のLED化	2016年度	
19	130100	13_空気調和の管理	高効率空調機への更新	2016年度	
20	130100	13_空気調和の管理	高効率ポンプへの更新	2016年度	
21	150200	15_照明設備の運用管理	バックヤードのLED化	2016年度	
22	150200	15_照明設備の運用管理	客室のLED化	2017年度	
23	150200	15_照明設備の運用管理	高効率空調機への更新	2017年度	
24	150200	15_照明設備の運用管理	バックヤードのLED化	2017年度	
25	130100	13_空気調和の管理	駐車場給排風機高効率機器への更新	2017年度	
26	150100	15_受変電設備の管理	高効率変圧器への更新	2017年度	
27					
28					
29					
30					
31					
32					

7 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況（自動車に係るものを除く。）

対策 No	対策の区分		対策の名称	実施時期	備考
	区分 番号	区分名称			
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					
43					
44					
45					
46					
47					
48					
49					

7 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況（自動車に係るものを除く。）

対策 No	対策の区分		対策の名称	実施時期	備考
	区分 番号	区分名称			
50					
	【その他ガス排出量の削減の計画及び実施の状況（その他ガス削減量を特定温室効果ガスの削減義務に充当する場合のみ記載）】				
51					
52					
53					
	【排出量取引の計画及び実施の状況】				
61	180100	18_排出量取引	排出量取引		
62					
63					

8 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（自動車に係るものを除く。）

当社では、日頃から節電やCO2削減対策に積極的に取り組んでいる。
以下の点を重視して地球温暖化対策に取り組んだことにより、社員及びテナント事業者従業員の省エネルギーや地球環境に対する意識の向上が図られた。

■事業所での省エネの取り組み

- (1) 施設管理者が対策を率先して提案し、社員推進員及びテナント推進員との協議を定期的に行い、計画期間で実施することを基本方針とした。
- (2) 具体的には、節電の対策、見える化の実行、PDCA管理サイクルの推進等実施。
- (3) 温室効果ガスの排出量削減の為に、設備に係る対策を計画どおり推進した。
- (4) 各厨房にグラフ化した資料を掲示し、更なる温室効果ガスの削減を図った。
- (5) 各セクションに消灯推進シールを配布し、省エネ啓発を行った。
- (6) 館内改修工事の際に、空調機及び循環ポンプの高効率機器への更新及び照明設備のLED化を進め、温室効果ガスの排出量削減を行った。